

様式 1

【生活・小2・「つながる 広がる わたしの生活」】①

育成を目指す資質・能力

- (知・技)自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気づくことができる。
- (思・判・表)自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりすることができる。
- (学びに向かう力等)自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみを持ち、進んで触れ合い、交流しようとする。

ICT活用のポイント

オンライン会議システムを使い、グループごとにまとめたスライドをゲストティーチャーに向けて発表し、気づきや疑問を伝える。その後、アドバイスをもらうことで、地域の人々の思いや願いに気づく授業

前時までの児童の気づきや疑問を確認し、本時の見通しをもつ。

新しい発見や疑問を見つけよう

グループごとに気づきや疑問を発表し、回答をもらう。

新しい気づきや疑問を共有し、地域の人々の思いや願いに気づく。

気づきや疑問を整理してまとめ、スライドを加除修正する。

事例におけるCT活用の場面①

- 「**オンライン会議システム**」を使い、作成したスライドを発表し、ゲストティーチャーから助言をもらったり、疑問に対する回答をもらったりする。

事例におけるCT活用の場面②

- 児童の新たな気づきや疑問を「**テキストマイニング**」により可視化する。可視化されたキーワードを使い、グループで話し合い、スライドを加除修正する。

【生活・小2・「つながる 広がる わたしの生活」②】

【事例におけるICT活用の場面① オンライン会議システムでの双方向のやりとり】



オンラインでも、資料やキーワードを使って説明してくれたので、わかりやすい！

- グループごとの発表では、**ゲストティーチャーと画面共有**を行い、スライドを提示しながら、気づきや疑問を伝える。
- ゲストティーチャーからは、**資料やキーワードを用いて回答**をもらう。児童は助言や疑問に対する回答をメモをとりながら話を聞く。
- オンライン会議システムでのやりとりは、**録画**しておき、**いつでも、どこでも、繰り返し何度でも確認**することができる。

【事例におけるICT活用の場面② 可視化】



児童の気づきや疑問が、キーワードで示されるから、とてもわかりやすい。スライド修正の視点がとらえやすい。



- 児童の気づきや疑問を**グループごとにテキストマイニング**し、キーワードを提示する。
- キーワードを使い、グループ全員でスライドを加除修正する。